

帰国報告書

北海道教育大学岩見沢校

芸術課程 美術コース 書専攻 3年

氏名 能登有嗟

留学先国名 中華人民共和国

大学名 四川大学

留学を終えて

高校生の時に書道と出会い、大学でも書道を勉強しています。きっと大学卒業後も書道を学び続けていくのではないかと思います。留学前の私の頭の中はいつも書道のことばかりでした。このまま書道だけを見続ける生き方でいいのだろうか、ふと思ったのです。もっと自分の知らない世界を知りたい、何かしらを経験したいと漠然とした考えで留学を決めました。なんともあやふやな理由で留学を決めた訳ですが、今ではそれで良かったと思っています。それは、明確な目標がないからこそ食欲に吸収することが出来たと思うからです。書道について学ぶことはもとより、アジア同士、日本とは近国である中国の、海を挟むことによって大きく異なった中国の民族性、文化の違いについて元々興味があったので、実際に中国人と接することで得た知識は大きかったです。

私が留学した四川大学は中国大陸の内陸に位置しており、東南アジア、中央アジア、南アジアの国からの留学生がたいへん多いです。外人といえばヨーロッパやアメリカに目が行きがちですが、東アジア以外のアジア諸国の人々と接することが出来る貴重な大学だと思います。中国人の他にも諸外国の人たちと交流するのに適した環境です。日本とは異なった生活スタイルに驚くことばかりでした。四川大学のクラスは、まず0基点、初級、中級、上級とわかれており、更に進度別に3クラスに分かれます。ですから、自分のレベルにあったクラスを選ぶことができます。また、中国語の勉強の他にも、四川語、中国文学、中国の歴史、卓球、書道、太極拳の授業を開講しています。大学寮は、校舎から徒歩3分程度の場所にあり、近くにはスーパーもあるので便利です。また寮の入り口には24時間体制で警備員が見張っているので、安全面にも問題はありません。

これから留学を考えている皆さんへ

留学先の言語を少しでも勉強して行くか行かないかで心の持ちようが大きく違います。言語がわからないということは行動の一つ一つが命がけなのです。大げさに言いましたが、そのくらい必死ということです。言語を学ぶことは大切ですが、例えば旅をすることで普段は気づくことのない人のあたたかさや、食がある幸福さに気づけます。改めて日本人の良さに気付いたり、おかしいなと思ったり色々なことを感じられると思います。留学で得

ることは何一つとして無駄なものはありません。もし、チャンスがあるならば是非交換留学制度を利用して欲しいと思います。



敦煌でラクダに乗りました。

敦煌



兵馬俑

龍門石窟



フランス人のクラスメイトと猫カフェにて

日中交流会



中国のコミケ



成都名物「しゃおちー」



肉屋



家庭料理



烤鱼



武隆の料理



公園



書いたもの